

ほんじつ ～本日のおすすめの本②～

かだいとしょ
課題図書



『ヒロシマ 消えたかぞく』

指田 和 著 ・ 鈴木六郎 写真 ポプラ社(2019年初版)

*この本は Eの書棚にあります。(貸出可能)

1945年8月6日午前8時15分、当時の対戦国、アメリカによって広島に投下された原子爆弾は、上空600メートルで爆発。その瞬間にできた火球の中心温度は100万度をこえました。1秒後には、最大直径280メートルとなり、爆心地周辺の地表面の温度は3000～4000度に達しました。爆発時の熱線と放射線は、一瞬のうちに広島を包みこみました。当時の広島には約35万人の人がいたといわれていますが、その年の12月までに14万人以上の方が亡くなったといわれています。その中には、日本人だけではなく、朝鮮・中国の人々、そして、アメリカ兵の捕虜も含まれていました。

この本には、子どもたちのはじける笑顔、かわいがっていた動物、白々の暮らしや広島風景など、家族へのあふれる愛が満ちあふれた写真が載っています。すべて鈴木六郎さんという当時広島に住んでいた人が、家族を撮った写真です。でも、この家族は、原爆で一家全滅しています。

命の重みを、一瞬で無差別に吹き飛ばしてしまう「原爆」の恐ろしさに、未来を担うみなさんは、どのような課題を感じるでしょうか？

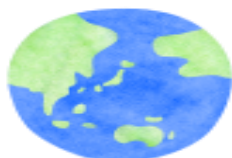
「すべてをうばいさった、あの原爆。でも、このかぞくが生きたあかしを消すことは、決してできません。」(本文より)

ぜひ、この夏、戦争について考えるきっかけの1冊にしてください。

ねんせいたいしやう
5・6年生対象ですが、1年生から読めます。

せんそう へいわ
戦争や平和についての本は2番の書棚にあります。

また、絵本もたくさんあります。ぜひ、読んでみましょう。



SDGsの10・

16に関連します。

おしらせ

がっこうとしょうかん
学校図書館に、「SDGsコーナー」ができました。(一部準備中)

じぶん みるし
自分たちの未来をよりよくするために、自分の課題をみつけてみませんか？

ものごたりに えほん なか
もちろん、物語や絵本の中にも、たくさんヒントがありますよ。

